

学校給食（食缶方式）を視察

～ 文教福祉委員会 ～

熊野町では、昭和59年に学校給食（ランチボックス方式）が開始されましたが、令和7年度2学期より、温かい給食を提供する「食缶方式」に41年振りに変更になりました。変更に伴い、搬入、配膳から食事の注ぎ分け、食後の片付けまで一連の流れについて視察しました。



給食事業者が11時に学校に届けています。



給食と食器をセットし、
教室前まで運搬します。



配膳当番の生徒が一人ひとりに
配膳します。



給食タイム。おかわりもできます。

今回は、搬入から食後の後片付けまでの一連の流れについて視察しました。

生徒たちは、ドキドキワクワクしながら配膳から後片付けまでを限られた時間の中で手際よく取り組んでいることがとても印象的でした。今後、更に充実した給食となるよう皆さんと一緒に考えていきます。

介護予防とみんなく先進地を視察調査

～ 文教福祉委員会 ～

12月24日から25日までの2日間、奈良県^{こうりょう}広陵町^{さかい}けんこう福祉部の介護予防の取り組みと大阪府堺市教育委員会の「みんなく」について視察調査を行いました。

広陵町「ICT」を活用した介護予防の取り組み

広陵町では、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、医療機関と介護事業所等の関係者との協働・連携を推進しています。「地域つながりネット」を導入し、医療機関や介護事業所、通いの場、サロン等の情報を積極的に提供され、高齢者にとって必要不可欠なシステムとして利用されている。



▲広陵町の職員から詳しく説明を受けました



▲認知症あんしんガイドブック

堺市教育委員会「みんなく（睡眠教育）」の取り組み

「みんなく」とは、子どもの睡眠を中心とする生活習慣を改善し、心身の健康を増進させ、不登校を始めとする子どもの課題を解決する教育に取り組んでいる。平成27年度に堺市立三原台中学校において不登校改善を目的に導入され、不登校の改善が図られたことから、現在では堺市で取り組まれており様々な成果をあげられている。



▲堺市教育委員会から詳しく説明を受けました



▲「みんなく」のパフレット

先進的な取り組みを学びました。必要に応じ本町へ政策提言を行ってまいります。